

LexxSupport

自動搬送ロボットの導入分析サービス

人手不足による運営リスク分析

自動搬送ロボット導入による費用対効果分析

※緊急事態宣言を受け、物流、製造、製薬事業者の方々へ無償で分析を行っております (2020年4月20日現在)

LexxPlus



内容

株式会社LexxPlussの「自動搬送ロボットの導入分析サービス」は、物流倉庫や製造工場、製薬工場等で自動搬送ロボットの導入を検討している事業者の方々に、自動搬送ロボット導入による**費用対効果分析**と**人手不足による運営リスク分析**を行うサービスです



対象者

- 現場の自動化を提案したい
- 自動搬送ロボットによる費用対効果を計算したい
- 人手不足による事業運営リスクを把握しておきたい



対象分野

- 物流倉庫(食品、消費財、アパレル、電化製品、生鮮食品等)
- 製造工場(自動車、電化製品、半導体、食品)
- 医療分野(製薬工場、病院、研究施設)
- その他



導入相談

無料

 オンライン相談

- ✓ オンライン相談
- ✓ オンライン費用対効果相談

無償

基本分析プラン

—50,000円—

 対象：2か所まで

- ✓ オンライン相談

- ✓ 人手不足による運営リスク分析
- ✓ 費用対効果分析
- ✓ PDFレポートの提出
- ✓ 2か所の現場分析



プレミアム分析プラン

100,000円~

 対象：3か所以上可能

- ✓ オンライン相談

- ✓ 人手不足による運営リスク分析
- ✓ 費用対効果分析
- ✓ PDFレポートの提出
- ✓ 3か所以上の現場分析
- ✓ 運営リスク詳細分析
- ✓ 複数か所の分析比較

※緊急事態宣言を受け、物流、製造、製薬事業者の方々へ無償で分析を行っております (2020年4月20日現在)

参考レポート

会社名

物流テック

本社

東京都中央区

売上

9100億円 (+1.2%)

従業員数

29900名 (連結)

改善する作業

作業	倉庫への入庫作業
運搬物	パソコン関連の製品
環境	低振動での運搬
重さ	200kg
頻度	1時間に3回程度
現在の運搬方法	台車を使用
往復距離	200m
運搬場所	複数

人手不足による運営リスク係数



ROI分析

1年9カ月から 2年4カ月

効果分析

- ・人件費削減効果 最大0.6HCまで
- ・対象ロボット AGV型
- ・ロボットの価格帯 150-200万円

自動搬送ロボット

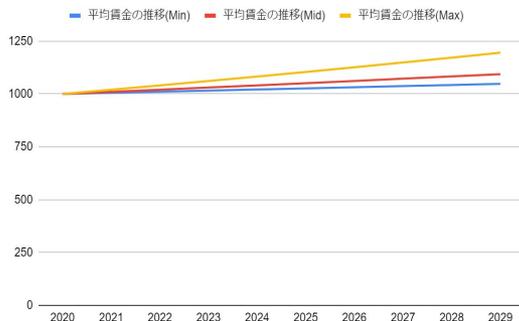
最適な自動搬送ロボット価格 150万円

・運搬頻度が比較的小さい作業の為、高価な自動搬送ロボットでは費用対効果が出にくくなる

分析対象

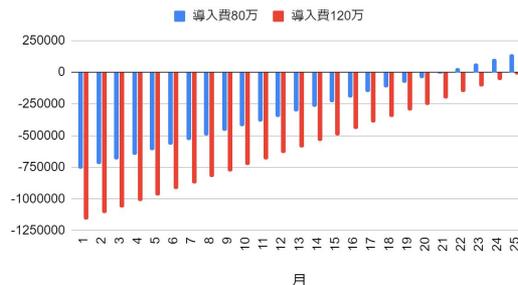
場所	栃木県
施設目的	アパレル系倉庫
売上	50億円
施設内従業員	250名
男女比率	8:2
平均年齢	45.6歳

賃金上昇予測(栃木県)



自動搬送ロボット導入時の費用対効果

損益分岐点



参考統計資料:
 主要統計資料(厚生労働省)
 地域別人手不足(内閣府)

*景気変動による影響は考慮されておりません。
 *公表されている統計データに基づき弊社独自の分析しております。
 *本データの利用は貴社の責任に基づきお願いいたします。それによる被害、損失等については、弊社では、責任は一切負いかねます。
 *弊社の分析方法については、品質と性能向上等により、予告なく変更することがございます。

倉庫内の運搬作業



運搬作業

自動搬送ロボット種類
運搬方法
運搬量
運搬頻度
環境前提
環境前提

: AMR型 (Autonomous Mobile Robot)
: 運搬台車の牽引
: 200kg
: 1時間に6回
: 経路内に荷物がある場合も考慮する
: 人が交差する環境下

運営リスク係数の分析方法とそれぞれの指数

01	地域別分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域別労働人口 ■ 地域による欠員率と雇用失業率
02	従業員に関する分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人労働者割合 ■ 従業員平均年齢 ■ 男女比 ■ 非正規雇用割合
03	事業内容に関する分析	<ul style="list-style-type: none"> ■ 職種による雇用環境 ■ 現場の従業員1人あたりの生産性 ■ 労働環境 ■ 賃金

運営リスク係数

10	7~10	自動化検討すべき 現場環境の改善や運搬作業の自動化を検討すべき 人手不足による運営リスクは高い
9		
8		
7	4~6	更なる改善が可能 人手不足による運営リスクは比較的低い、更なる改善も可能
6		
5		
4	1~3	理想的な環境 現状の環境を維持 運営リスクは低い
3		
2		
1		

※運営リスク係数は絶対的な指標ではありません
※自動化することで運営リスク係数がどのように変化するか、相対的に判断する指数として参考にしてください